



2025年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年12月13日

上場会社名 株式会社coly 上場取引所 東
コード番号 4175 URL https://colyinc.com
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 杏奈
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 村上 寛奈 (TEL) 03(3505)0333
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第3四半期の業績 (2024年2月1日~2024年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第3四半期	4,301	31.0	△596	—	△591	—	△626	—
2024年1月期第3四半期	3,283	△11.1	△898	—	△897	—	△899	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年1月期第3四半期	△113.79		—					
2024年1月期第3四半期	△163.50		—					

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年1月期第3四半期	6,095	5,164	84.7
2024年1月期	6,529	5,767	88.3

(参考) 自己資本 2025年1月期第3四半期 5,164百万円 2024年1月期 5,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年1月期	—	0.00	—	—	—
2025年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年1月期の業績予想 (2024年2月1日~2025年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	28.3	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2025年1月期の業績予想については、売上高のみを通期業績予想として開示しております。詳細は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年1月期3Q	5,502,900株	2024年1月期	5,502,900株
② 期末自己株式数	2025年1月期3Q	80株	2024年1月期	80株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年1月期3Q	5,502,820株	2024年1月期3Q	5,502,820株

- ※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料については、2024年12月13日（金）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中、各種政策が奏功し緩やかな回復が続きました。一方で、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響等、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクは継続していることに加えて、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社が主に事業を展開する日本のモバイルオンラインゲーム市場は、2012年より市場が拡大し2023年には1兆1,886億円となり、成長は鈍化傾向にあるものの(注)、安定した市場規模を維持しております。しかし、海外ディベロッパーのモバイルオンラインゲームをはじめとした高品質な商品の台頭や、開発の長期化や開発費の高騰等、市場環境は厳しさを増しています。一方で、2024年のキャラクタービジネスの推定市場規模については前年を上回る見込みであり、底堅く推移しました。このような市場環境を受け、当社ではゲーム・メディア(グッズ販売・イベント開催等のゲーム外展開を指す)双方からIPを盛り上げ、末永くユーザー様に楽しんでいただけるIP運営を目指しました。

モバイルオンラインゲーム事業については、オリジナルIPの新作タイトル『ブレイクマイケース』を2024年5月9日にリリースし、想定以上の反響をいただいた結果、売上高は前年同期を上回りました。現在、ユーザー様からのご意見を反映させながら運営を実施し、ゲーム内イベントも順調に推移しております。多くの期待をいただいているメインストーリーの続編についても、第4四半期に開催のハーフアニバーサリーでの配信に向けて、全編フルボイスでの準備を進めました。『スタンドマイヒーローズ』につきましては、9月に8周年を迎え各種施策を展開しました。また10周年を見据えた今後の展開を発表し多くの反響をいただきました。『魔法使いの約束』につきましては、各種ゲーム内イベントを実施する中、第4四半期に迎える5周年に向けて準備を進めてまいりました。引き続き、各IPにおいてユーザー様にとって魅力のある運営を実施しながら、舞台やキャストイベント等のリアルイベントやメディア、グッズ等を絡めつつ、ゲームだけでなくIPとしての成長を目指してまいります。また、同時に新たなIPの創出・新たなゲームの開発を進行し、安定成長のための準備をすすめてまいります。

メディア事業においては、各タイトルでグッズの販売が好調に推移したほか、異業種とのコラボレーションによるグッズ展開や、リアルイベントの開催や舞台、「coly cafe! 池袋PARCO店」での期間限定カフェの開催等ユーザー様とのタッチポイントを創出し、多方面から当社作品に触れる機会を提供し続けました。また、2025年1月にTVアニメ放映予定の『魔法使いの約束』の情報を定期的に発信し続け、大きな反響をいただきました。以上の結果、メディア事業の売上高は前年同期を上回りました。

売上高につきましては、『ブレイクマイケース』のリリースによりモバイルゲーム事業の売上高が大幅に伸長したこと、メディア事業が好調に推移したことにより、前年同期比で増加しました。売上高の増加に伴い、売上総利益についても前年同期比で増加しました。販売費及び一般管理費につきましては、『ブレイクマイケース』リリース前後で広告宣伝費を大きく投入したこと、大手エンターテインメント企業様との協業案件の費用が先行したことにより前年同期比で増加いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高4,301,973千円(前年同期比31.0%増)、営業損失596,917千円(前年同四半期は営業損失898,771千円)、経常損失591,679千円(前年同四半期は経常損失897,368千円)、四半期純損失626,160千円(前年同四半期は四半期純損失899,731千円)となりました。

なお、当社はコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(注) 出典：株式会社角川アスキー総合研究所「ファミ通モバイルゲーム白書2024」

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて434,465千円減少し、6,095,061千円となりました。これは主に現金及び預金が1,489,797千円減少した一方で投資有価証券が848,524千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて168,177千円増加し、930,585千円となりまし

た。これは主に買掛金が101,659千円減少した一方で、短期借入金が100,000千円、契約負債が83,426千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて602,642千円減少し、5,164,475千円となりました。これは主に四半期純損失を626,160千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月期については、5月にリリースした『ブレイクマイケース』が好調に推移していること、また運営中の『スタンドマイヒーローズ』及び『魔法使いの約束』についてもゲーム・メディア双方でIPとしての成長を目指すことで堅調に推移していることから、売上高については当社の過去最高売上である65億円を見込んでおります。

費用面では、2026年1月期リリース予定の大手エンターテインメント企業様との協業案件の費用が先行していることや、一時的に『ブレイクマイケース』の広告費用を大きく投入していることが利益を圧迫しております。加えて、プロトタイプ開発を進行しているゲーム2タイトル(2026年1月期リリース目標)や、その他企画中のタイトルが複数進行しており、それらの進捗状況によっては開発費用が大幅に変動することが見込まれます。また、『ブレイクマイケース』につきましては、効果を見ながらマーケティングの強化や施策の追加を実施する予定であり、費用の変動が見込まれます。

中長期的には、IP数の増加及び事業領域の拡大が当社の成長につながると考えており、末永くユーザー様に寄り添うことのできるオリジナルIPを育て上げ、ゲームやメディアに加えて新たなEX体験(注)をユーザー様に提供していきたいと考えております。現在はそれらのIPを多く創出・育成する時期と認識しており、機動的な投資判断が必要となることが想定されるため、利益予測に関しては非開示とさせていただきます。

以上により、2025年1月期の業績予想につきましては、売上高65億円(前期比28.3%増)、営業利益、経常利益、当期純利益は非開示とします。

(注) EX体験とは

当社の造語で「Entertainment Transformation」または「Emotion Transformation」の略であり、あらゆる産業において「感情」を揺さぶられるような体験の提供が求められる状態を想定しています。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,086,068	3,596,271
売掛金	501,940	458,469
商品	86,869	112,012
短期貸付金	—	27
その他	146,873	178,376
流動資産合計	5,821,751	4,345,156
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	22,026	20,104
工具、器具及び備品（純額）	8,608	13,747
建設仮勘定	1,045	—
有形固定資産合計	31,681	33,851
無形固定資産		
ソフトウェア	4,112	30,271
ソフトウェア仮勘定	—	2,500
無形固定資産合計	4,112	32,771
投資その他の資産		
投資有価証券	438,476	1,287,000
敷金	155,771	155,117
差入保証金	—	93,000
長期貸付金	—	9,622
その他	77,734	148,163
貸倒引当金	—	△9,622
投資その他の資産合計	671,981	1,683,281
固定資産合計	707,774	1,749,904
資産合計	6,529,526	6,095,061

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	214,096	112,436
短期借入金	—	100,000
未払法人税等	14,943	9,880
契約負債	212,406	295,833
賞与引当金	19,037	76,028
その他	301,922	306,868
流動負債合計	762,407	901,048
固定負債		
長期借入金	—	19,158
繰延税金負債	—	10,379
固定負債合計	—	29,537
負債合計	762,407	930,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,309	1,910,309
資本剰余金	1,905,309	1,905,309
利益剰余金	1,951,703	1,325,542
自己株式	△203	△203
株主資本合計	5,767,118	5,140,957
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	23,517
評価・換算差額等合計	—	23,517
純資産合計	5,767,118	5,164,475
負債純資産合計	6,529,526	6,095,061

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年2月1日 至2023年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年2月1日 至2024年10月31日)
売上高	3,283,650	4,301,973
売上原価	2,292,423	2,730,631
売上総利益	991,227	1,571,341
販売費及び一般管理費	1,889,998	2,168,259
営業損失(△)	△898,771	△596,917
営業外収益		
受取利息及び配当金	55	791
為替差益	—	81
法人税等還付加算金	1,331	—
還付消費税等	—	13,742
その他	91	495
営業外収益合計	1,479	15,110
営業外費用		
支払利息	—	219
貸倒引当金繰入額	—	9,622
為替差損	60	—
その他	15	29
営業外費用合計	75	9,872
経常損失(△)	△897,368	△591,679
特別損失		
固定資産除却損	73	606
関係会社株式評価損	—	20,000
関係会社清算損	—	7,447
特別損失合計	73	28,054
税引前四半期純損失(△)	△897,441	△619,733
法人税等	2,289	6,426
四半期純損失(△)	△899,731	△626,160

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、コンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)
減価償却費	11,979千円	10,441千円